

経済常任委員会に付託された事件について、審査した結果を御報告いたします。

認定第 1 号 平成 22 年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

本件のうち、当委員会所管分は、慎重審査の結果、認定すべきものと決しました。

認定第 1 2 号 平成 22 年度岩国市観光施設運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第 1 3 号 平成 22 年度錦帯橋管理特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第 1 4 号 平成 22 年度岩国市市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第 1 7 号 平成 22 年度岩国市交通事業会計決算の認定について

以上 4 件は、慎重審査の結果、認定すべきものと決しました。

議案第 7 3 号 平成 23 年度岩国市一般会計補正予算（第 1 号）

本議案のうち、当委員会所管分は、慎重審査の結果、原案妥当と認め、可決すべきものと決しました。

議案第 8 1 号 平成 23 年度錦帯橋管理特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 8 2 号 平成 23 年度岩国市市場事業特別会計補正予算（第 1 号）

以上 2 議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め、可決すべきものと決しました。

それでは、審査の状況について御報告いたします。

認定第 1 号 平成 22 年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、当委員会所管分の審査におきまして、農林水産業費の森林整備促進事業に関し、

委員中から、「森林整備促進事業を森林組合に委託しているが、山を守るためには林家を第一義りんかに考えた体制づくりをするべきではないか」との質疑があり、

当局より、「地元の声を国や県に届け、また働きかけをしていきながら、国・県とともに、林家をりんか守っていくような施策の充実に努めていきたい」との答弁がありました。

これを受けて委員中から、「現在の林業は利益にはならず、逆に赤字が発生するような状況である。山を守り、次の代へバトンタッチできるよう、少しでも林家をバックアップできるような体制づくりをしていくべきではないか」との質疑があり、

当局より、「林家の負担を軽減させる方法を考えるとともに、市民にも森林がいかに公益的な役割を果たしているかを啓発していきたい。山を守っていくということは、一自治体のみならず、日本という国全体の課題であり、国・県と連携を取りながら、早急に森林を守るための計画の策定に努めていきたい」との答弁がありました。

次に、商工費の岩国市制度融資実施補助金に関し、

委員中から、以前は預託制度として実施していた当該制度を、補助金制度へと移行した理由についての質疑があり、

当局より、「平成14年からペイオフ制度が実施されているため、公金保護の観点から補助金制度へと移行した」との答弁がありました。

これを受けて委員中から、「市税収入の60%以上を占める第2次・第3次産業の振興策をきちんと行うべきであり、他市においては、融資枠や利子が岩国市よりもよいというところがある。そうした状況等を把握するため、関係機関との会議を頻繁に行うべきではないか」との質疑があり、

当局から「関係機関との連携を密にして、中小業者が利用しやすく、地域経済の活性化につながるような、岩国市独自の融資制度について、前向きに検討していきたい」との答弁がありました。

本件のうち、当委員会所管分は、慎重審査の結果、認定すべきものと決しました。

なお、そのほかの案件につきましては、特に申し上げるべきことはございません。

以上で、経済常任委員会の審査報告を終わります。